



つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL0957(52)3210

4月20日向陽高校「創立記念日」98周年

向陽高校は大正13年創立以来、今年98周年を迎えます。

2024年に創立100周年を迎えるにあたり、私達は今こそ本学園の歴史をかえりみて

～ゆるぐなし我が学び舎～

建学の精神「奉仕」を引き継ぎ、

～栄えあれ我が学び舎～

未来へ向けて新たな息吹を創造していかなばなりません。



令和4年度「新規採用教職員発令通知」交付式より



学校法人向陽学園の教職員となられます皆さんに、向陽学園を代表してまずは歓迎の意を表させていただきます。そして、今日より、園児・生徒・学生の生命とその人生に関わる者、教育に従事する者として心得ていただきたいことについて述べたいと思います。

私たちが向陽学園においてその人生をかけて臨む子どもたちを建学の精神「奉仕」を礎に教え導くという道は、教育業で表されるように生業(なりわい)としての一面があるとともに、このように育ってほしい、成長してほしいという願いや思いで成り立っているということです。

それは、父母の無償の愛情とは違う性質を持っており、区別されるものです。だからこそ、周囲から高度な見識や倫理観を求められるのであり、常なる自助努力が必要となってきます。マスメディア及びSNSなどによる一般的情報も一側面として私たちの襟を正す一つの見方ではありますが、現場における全ての理解を基にしているわけではありません。

とはいえ、こと変化という意味では、指導要領の改訂はもちろんのこと、日本社会の転換期にある今、まさに学校が変化対応すべき時が来ているのです。

新規採用された皆さんには、教育界が抱える二律背反するジレンマをいち早く理解するとともに、大きな社会の変革期への対応がここ向陽学園でも急がれていることを知っておいてください。

そして、自身がその職責と使命において何をすべきを考え、行動し、発言するよう心掛け、その変化対応に貢献していただくことを期待しています。

皆さんに、これからの本務遂行にあたり、一つの助言をするならば、「至誠 天に通ず」という吉田松陰の言葉を肝に銘じていただきたいと思います。人はとかく自身に甘い気持ちを持ってしまうものです。どこかに安心して何もせず生活ができる穴倉があるならば、そこに入り、過ごしたいと思うのが人情です。私たちは、それをぐっと抑え、感情をコントロールして、子どもたちが輝き、成長する環境を協働して作り、教育を施し、夢を実現する力をつけてもらうよう図らねばなりません。それは、学校の社会的役割を考えれば、当然かもしれませんが、挫けそうになるくらい膨大な仕事で難しいものです。

そんなとき、学校に通う一人一人、校内で関わる一人一人、クラスに所属する一人一人に対して思いや願いをもって、誠実に職務を遂行することこそが、向陽学園が社会に果たすべきその使命に応える結果を生み出すのです。ここにいる一人一人がその職務を全うし、成長することで、向陽学園が、社会が、そして国が良くなることに繋がっているのです。

「至誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり」。覚えておいていただきたいと思います。

最後になりますが、ここにいる皆さんには、この辞令交付式における初志、気持ちを忘れず、子どもたちの未来を思い、職務に専念し、邁進することを期待し、私の激励の言葉とします。

令和4年4月1日 学校法人向陽学園
理事長 鳥山 雅之





祝卒業 わが学園の「建学の精神」



学校長 鳥山 武

皆さん方が学んだ向陽高校は半世紀にわたり女子教育にたずさわり、学んだ生徒は建学の精神である「奉仕」に触れ、社会の発展のため努力をしています。しかし皆さん方を待ち受けている社会は、数々の問題が山積みしており大変厳しいものがあります。こうした社会における問題解決には、人間が福祉のために解決する事があります。その福祉のための解決には、人類普遍の根本精神（解決原理）といったものがあるはずでして、我が校はこれを「奉仕」としたのです。「奉仕」の精神は人間が自己中心的な考えを捨て去り、人間存在の価値に驚嘆するとき、自然と湧出するものです。戦後、日本は世界的にも誇れる平和国家を宣言し、自由主義国家の仲間入りをしました。

それと共に一粒の米に対する精神を忘れがちではないでしょうか。自由が利己主義の弁解の用具にされると、自由はその真価を失ってしまいます。人間尊重の精神に基づき、自己を超越し積極的に他人の為に自由を行使してはじめて自由の真価が現れ、人類に平和が訪れるものと思います。その行為が「奉仕」であり、その源泉は人間尊重の精神なのです。人間の、他人の価値を尊び、その恩恵に感謝しその証として奉仕する気持ちは「一粒の米」にも至らなければなりません。こうした人間尊重の精神に深く根差す「奉仕」を建学の精神とする本校で学ばれた皆さん方は、高校生活で高めた理性の光でさらに真理を追求し、幸福な人生を送られますよう心からお祈りします。

※初代理事長「鳥山武」先生の卒業生への祝辞です。
昭和52年3月「向陽新聞」第51号より一部抜粋



<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

「創立100周年記念事業」企業募金の案内開始！



向陽学園の卒業生及び職員、関係者約1万8千人への個人募金は昨年から案内をしています。引き続きお願いいたします。4月から新たに関係企業の方への募金案内を開始し、ご寄付をお願いいたします。本学園の教育理念をご理解いただき、100周年記念事業の推進にご協力をお願いいたします。

「高校HP」が
見られるワン！



お問い合わせは
下記事務局までご連絡ください。
【100周年記念事業事務局】
TEL0957(52)2024

「創立100周年記念事業推進委員会」開催

令和3年度第6回「100周年記念事業推進委員会」が3月28日に開催されました。高山会長（たちばな同窓会会長）の挨拶の後、今年度の校内記念事業実行委員会の推進状況を事務局から報告しました。その後各役員からご意見をお伺いし、鳥山理事長が記念事業へのご協力をお願いしました。



中川さん 前川さん 平川さん 高山会長 鳥山理事長
森さん 城田さん

令和3年度「創立100周年記念事業推進委員会役員」

名誉会長	学校法人向陽学園理事長	鳥山 雅之
会長	高校たちばな同窓会会長	高山 悦子
副会長	高校育友会会長	平川 竜也
	カロヨン鐘の会会長	前川 要次
	看護専攻科同窓会会長	小川 麻里
	向陽幼稚園父母の会会長	中川 有二
	長崎リハビリテーション学院同窓会会長	城田 律子
委員長	高校校長	吉田 惣治
委員	看護専攻科副校長	西 邦子
	向陽幼稚園統括主任	村上 沙季
	長崎リハビリテーション学院副学院長	井戸 佳子
	高校教頭	渡邊 徳幸
	高校教頭	笹山 龍太郎
会計委員長	学園本部事務局長	吉田 忠史
会計委員	高校事務長	瀧野 亨
会計監査	高校同窓会	森 久仁衣
	高校育友会	古川 美香



向陽高等学校 たちばな同窓会

令和3年度「たちばな同窓会」入会式（2月28日）

たちばな同窓会の高山悦子会長が、卒業生を前に祝辞を述べ記念品を贈呈しました。その後今年度の卒業生幹事（14名）の紹介と、100周年記念事業の募金案内がありました。幹事さんは早速同窓会公式LINEへ登録しました。



入会おめでとう！

